

第四十八席

田邊南龍口演

例に三ツ巴の紋の附いた彈藥箱が拾
てありましたから是を取上げて持参
り、此の品が上り物となつて後に監
獄をいたします、是が二度目の御
難 第三度目の御難といふのは大井
川まで居させられると、遠州掛川の
城主御倉統前守が御馳走の爲に作
りましたる船橋がある、此の船橋と
云ふのは彼の廣い大川に船を横に繋
ひて残らず板子を敷詰りまして其の
上を渡るもので、宛然平地を行くや
うでございます、番警出上つたの
を若中清井殿守が機分をして早速
に朝倉家の役人へ申し入れたのは、一
是は折角の役人へ此の船橋は取除
けける様、役御せなくてはござん
角出来ましたる船橋、殊に朝倉の
意何卒此處にして御渡り下さる様
にござんす、

大納言殿の附人故船橋の内に何があ
るか判らない、間違ひがあつてはな
らんと思ひましたから取除けました
のでございます、果せるかな此の橋
を渡つたら大變、實は船の中に四人
の血者が隠れ居て將軍がお渡りにな
つたら船の内より飛出して家光公を

外科一級 花柳外科
泌尿器科 皮膚科
院長 安部修三
京永樂町二丁目金光教會
安部醫院
電話四一九番

番六ヶ嶽といふことで、所司代の元祖は板倉伊賀守勝重でございます。二十年間眺めて何の落度もなく然し老衰をしたといふので此のお役を辭すに、家康公お聞渡りなされて「傳勝重永年の間働いた儘であつた、それに就て所司代後俊は御事に申し付けやうか、其方が眼識に叶つた者を申してくれい。勝重役の中で所司代は六ヶ嶽もの普通な者には勵まれません私の倅周防ならば首尾能數めることが出来やうと存じます」と申し上げたから家康公是を聞かれて、手前味噌は趣が辛い、手前勝手ことを云ふものだと思召して「家コリヤ伊賀周防は未だ弱年故所司代の大役は勵まぬまい。勝子を見ること親に

產婦人科
二宮醫院
京成壽町四一
醫學士 二宮亮吉
電話 二〇二番

春、周防ならば必ず行動まします
家「左様か」と遂て後夜は侍の周防
宇重宗に仰付られた、周防等は年十
八歳伊豫の松山で五萬石を領して當
代の拔擢人、將軍殿のお目通りが済
んで東海道を上りましたが、宿々で
は出迎ひをいたして其の勢ひは廣大
でございました

二月四日 九星
舊正月十三日丁丑
本命二黒神速先勝

▲▲▲ 周防には有難い事有難い事見合ふは吉
嶋助坤△三羽 向ふ見の日新有難い事有難い事
御事は言女子女子子行儀を守らしし△四羽 中樂
の日新事非常の浪花の周防に方があるし△五
五萬 互換にならざること有日社堂新平手無難事
入塾名弘作金銀藏進求郷土組の和を問る
海吉△十羽 技術不問日朝辰原辰吉女
子は夢にたり立歩を待てる有難い事有難い事
八廿一 秋の逢ふ新平手無難事工へ
水廻船相取取特許出願等海吉△白 成
州費有日新平手無難事は吉△白 成

今日此頃の寒冷さの烈しい折にも皮膚を毫も荒らす事なく何時も晴々とした美くしいお姿を保ちますには、先づ何よりも皮膚の養ひが大切です、其れには朝夕の御顔洗の後ごか又御風呂を召しました後では、必ず皮膚の荒を防ぎ肌理を細かく滑らかにし、皮膚の色艶を麗はしくする天下一品の化粧水御園四季の花をお塗けになり、御化粧する時には、ノリミが、よく誰方の皮膚にも容易く美しく附着く御園白粉をお粧け遊ばすに限りです。

白粉が皮膚に着いたり又美しくし、附着かぬ時には皮膚を柔軟にして白粉の附着をよくし、お化粧準備をよくする白粉下御園クレームの量を少量を手に取分けよく塗る様にして顔一面に並塗らない様に均て粧けますと、白粉のノリミが非常に良くなり、思ふ存分の美くしい御化粧が出来ます。又顔や髪を防ぐにも此御園クレームが一番です。


御園	金	金
定	二	五
價	十	十
銀	銀	銀



錦本粉白圓湖料海

(227)

銀行一般の業務精々御便利に御取扱申候
爲換取組先は内地各方面並朝鮮樞要の地有之候


營業

肥料部
 燕製骨粉、乾血、蹄角粉
 星印配合肥料、細工用地骨
 細工用蹄角各種膠及膠原料
石鹼部
 化班用石鹼、工業用、家庭
 用石鹼、浮石鹼、粉末石鹼
 牛脂、椰子油、鯊油、其他
 油脂類、苛性鹼、洗苛鹼

京城東大門外紅基町
朝鮮肥料製造所
 電話二六三五

京城陶崎町一四番地
朝日石鹼製造所
 電話二五六四
 電話九七三三
 總發行所 東京 丸の内

二 好 味 丸 味 噌

天下第一名品

龍 醬 油

日本醫油株式會社 出 張 所

京 城 太 平 通 二 丁 目

（電話二四五番）

譽 醬 油

貯蓄預金 元金百圓ニ付日步壹錢三厘金
壹錢以上何程ニテモ御預申候
株式會社長崎貯蓄銀行代理店
株式會社十八銀行京城支店
同 龍山出張所
龍山元町二丁目電話一八番
諸預金貸付爲替銀行一般ノ業務ハ精々御便利
ニ取扱可申候

二月三日
(本報特刊)

京城日報

併には、英吉利人自敷は則ち遂に植民家の政策の模守すべからざるを覺り、母子國を相結びて之を一統主義の下に治めざるべからざるを云ふもの歲月と共に増加し、最近に及びて英國政府は従来の帝國會議即ち全權は地代表者會議を改めて、母子國代表者聯合會議たらしめんとするの意旨を示せり、往年統一派に關する植民大臣チユムバレン氏が帝國主義を行はむと欲せば、自ら強大なる自治植民地をして、相當の發言權を把持せしめざるべからず、英國の何主義者の顧盼躊躇するの情あるのみ、則ちこれが爲めなり、然れども今は之を以て之を云はば、英國は遂に其放任主義を棄て、帝國主義一統政策を取らざるべからず、而して英國にして其政策を改むるあらば、世界諸植民國亦相應みて此に定まるべきや言を待たず。

鑛業の開發と

合衆國地質調查所

氣、磁氣、溶解、彈力、粘著力、傳

而して少數愛國の士を擧げば、
 都賦の諷のみ。支那は
 吾の如き抽象文字に非ずして、必
 ず借款をなし、而し
 借款を以て、却て民心
 離れざるべからざるべし。而し
 借款を以て、却て民心
 離れざるべからざるべし。而し
 借款を以て、却て民心

んとす。是果して親善の實なり。

是、而も國論を沸騰せしめず、是、與へり、而して管仲を食ふと云は
 親類善たると共に、日支仇敵の好、今は總敵は、管仲の衣らず是は、例なり。今又四國借款團を開き、とす、是二千年後の管仲の交へ
 文相借款を許せり。是古より度ふべきかの國際間の事好く暗人

▲組織 本所は内務省に屬す而して

を略述すれば左の如し

一、地質部

(イ)地質及び生物講

(ロ)アラスカ鑛床調査課

(ハ)鑛業統計課

(ニ)分析課

二、地形部

(イ)東部地形課

(ロ)西部地形課

(一) 地理課
三、水理部
四、出版部
五、庶務部

(二) 地質部
本所の主眼部にして地質學の發展を期す。古生物學は若くは化石地層學に對し、鑛產物等々を調査し特別の報告書に附屬發表する。

(三) 鑛產部
一千九百十三年に於ける鑛產表は生

地質技師一名、地質技師三十名、
 生物技師六名、技師補數十名及疾
 防員數十名あり
 アラスカ領地調査はアラスカ省
 の地質及び鑛床を調査す一千九百
 年に於ける課長は地質技師十一名
 地形技師四名を專任とす
 營業統計課に於ては統計外營業

國の前途を讀む

へる、以夷制夷の術にして而も
日の大眼目は、徹底して是を貫け
我帝國亦借 駄を名として、利權
得んす、是文那を振くに非ず
然ぞや、朋友財を缺き、窮乏せば、
か衣を典しても救はざるべから

るが如きは、是親信の道なるや。〇
管仲の貧なるや、鮑叔は其利を徒
與へり而して管仲を貧ると云はる
今は鮑叔は、管仲の衣すは是を
とす。是二千年後の管鮑の交へ
ふべきか。國際間の事好く情人

力等各般の物理的現象を研究す本體

地形部に於ては地形測量及び地理地
文の調査に従事す而して其の測量は
地質鑛産國に用ゆる以外は又行政
劃及び私有地の境界に其の面積
測定等乃ち土地調査並に土木工
事に資し尙ほ百般事業經營の爲

礎なるものなり
 水理課に於ける地表水理課は河川の
 水量及び其の増減を知悉し洪水の
 季及び其の損害區域等を調査する
 結果は水防部、海部、都市の給水等
 なる効果を顯しつゝあつた地下
 課を鑿井に依りて到きし得る地下
 を調査する結果、灌漑水又は都
 給水に關し効果を擧げつゝあり、
 水理課は水質の試験に従事し已に
 敗せる木材、炭山附近の排棄物等の

[illegible]

に在るは、恭しく弊國大皇帝前、第二世薩摩
下第五十八次誕辰の聖節に逢ひ此處
各臣百八十八の患難を蒙りて彼我國
益々深蕃に赴き小育及び弊國人人民
しく此賜會に逢ふて深く諸公の可
誠に感じ更に榮すの無限なるを冀
繼りに我皇登極以來親仁善隣、民
愛する子の如く内は國政を修め外は
なることなすも、我の露に對するや、
能く地下に墮ぶも、未だ仰ぐず、

而して支那に對するや、實に刻薄を
極む。是日露親善なるも、日支仇敵
の好適物なり。日露親善最も可なり
日支亦如此ならざるべからず。今
我國の富豪多くは、市井の小人なり
權利を知て義を知らず、日支親善の
大義の如きは、是を識するも鄙俚因
縁こそ之を吾らしむる能はずか。

弊今日に至る迄、自ら欺き、人を欺き、
 詐僞を爲富の捷徑とし、利權散
 求を以て、理財の至要とし、以て全
 に至る。故に隣國の如きも、利權
 あるあれば、饌者の肉骨を見る如く、
 唯是を得ざるを患ふ。故に利權を以
 てに非ざれば、借款に應ぜず、日清
 戦争の如きは、魚腹牛のみ。

と雖も猶分に安んじ己れの手を守り

化の人に入る深きの食さす處なり
千九百十四年七月、埃國皇太子及び妃
の途中に飛空に逢ふの時、全歐各國の
強國は生じて、尼國一髮に決滅せんと
するや、我皇帝は平和維持見地の下に
起して、解紛に勉めたるに料

ざりき各敵國は宿謀成熟しし之に
 解解して兵鋒を露し我皇帝誤保の方
 も終に窮して空想絶大の戦争を惹起
 し禦衆人民は勢ひ之れに對敵せざる
 を母干國結念々堅固にして金石の如
 く開戦以來竹破の勢を以て敵國城郭
 内に侵入する弊已に深く且つ遠く
 以て露敵攻を占領する事道は世に
 以て驚く可からしむる戦事雖も
 累の耳目を驚騰せしむ御國氣概の雄
 大なる世界名流しを認識する

たり然れども我輩は生靈の塗炭に
善しむを見るに忍びず上天の生
徳を體して同盟各國と協働して諸
を提議せり皇大元仁は全世界各
立國の皆賞賛を蒙り處たり即ち貴國
誠懇も亦た同情を表して賞讃するを
惜まざる何れそ各敵國は野心を包
して萬一の僥倖を懷ひ我土地の瘠
以て快ばし最後の一兵迄戦はざれ

止まざるの勢あり知らずや傲
 は、糧食不足に之れを用ふも盡き
 國人皆兵にして之れを敵すれば、
 集る而かも軍器計に精巧、農兵
 何徳同心、智勇並備して今平朝を
 向て戦ふ時は、正理は我に在り
 意氣剛壯なり、雖も可し各敵愾は
 機に暗昧にして人民の殘害を念じ
 此を戰禍速久して止まず其結果
 の妻は寡となり人の子は孤となり
 の父は獨りとならば其責めは何れ

の國か之れに任ず可きや我皇帝は仁
を求めて得ざるも其行ひは仁の極なり
孔子曰く仁者は壽なりと敬んで諸
公と同じく我皇の福無疆を恭祝
し併せて獨支邦父の真意を祝す云々

日 報 詩 壇

○新年口號四韻一 伊藤 半溪

歐歌清道人新元。不以歐洲戰禍驚心。清同風調雨順。日里源流。海大平恩。以復初日。浴大恩。聯恩歐州車。誦。應。以威。無限澤。除光萬里照乾坤。

評曰。立意宏大。

鐵騎雲騰。龍門。龍蛇遊。送三元。著。不。管。西。南。清。東。風。恩。

評曰。槐樹先生有龍蛇割斷。詩。作。復。狀。此詩起承。境。得。其。神。

平値なる實に作文辭典の最大權威を有するもの也
 荻生徂徠先生著 小泉秀之助氏校訂
 附東涯先生著
 譯文全蹄
 第四卷
 寶典

夏目漱石

明

津角定
西竹恒
楓竹成
鉦像威
鮫及圓
前延五

先生最後の傑作
無二の長篇

淺井
東郷
四郎
保林
京南
岩波

世界空前の佛教士
各宗碩學朝野名士廿八大家

本書は本願寺が宗祖六百五十回大尊忌追修記念事業として同佛敎大學に編纂一編纂の選を異にし、一完成と雖も敬虔に慎重なる參考を以て鮮明に全力を盡したるもの一宇に全頁を占めず、大體敎の物をそめて、内容の如き名實形義共に完全、且つ普應なる佛敎大群衆に於て隨て内容の如き名實形義共に完全、且

第二卷 七巻まで
 此際 特價五員七圓五拾銭

[illegible]

婦人の行く道

▲定價八拾錢送料八錢

發行所 東京市麴町區平河町五丁目番
振替口座東京二〇九一四番

編輯發行人三尾太郎君 顧問
會員 古村 青矢君等
(定例年會) 格致社

銃獵の趣味

●

京城日報代理部
(振替京城三〇〇番)

▲定價六拾錢送料四錢

洛陽堂 (往來集博)
目録錄呈

大辭彙第二卷出づ

全四卷
（索引）
 四百六拾四千八百頁
 補盛精尚木版
 千五百各圖美刺
 海安芝公園

會
 成
 書
 大
 有
 到
 是
 人
 地
 亦
 是
 乃
 國
 會
 員
 之
 職
 也
 二
 條
 送
 來
 芝
 公
 園

[illegible]

各學校は無論一本を備へて國史圖文を始め、精神教育の資料となすべきなり。

所蔵たるの讀評は忽ち天下に喧傳し、僧俗學者其他行印の盛況を呈せり。今や第二巻發行す、以て全部の完結を告げし中なれば本年中には必ずしも全圖各地有名書店に接せざる大方の請意に推獎す。

○申込

替振房
一〇五

東大門出張所

ば」と口惜しがつて居るとは面白
 ▲實際咽喉が咽るのだからうな
 ●撞球大會 清田 眞梨子に
 務部長櫻井中佐は来る十一日午後四
 時、清田眞梨子と訪見して美江に出で同

務部長送別宴
 部警察署員一同
 志一同百餘名
 員は六日夜何れも北一

呉れなきや、好むんぢやないが、つゝ粗糲な事も言はなけりやならんやうになつて来るんだが、それでも決して、相代さんを憎くて言ふ譯ぢやないんですよ。相代さんの出やう一つ……、榮徳の改めやう一つでは、幸ひ此の松崎もまだ獨身の不自由を忍んで居る身置なんだからね、今日が明日からでも、松崎夫人？とまででは巾が利かんまでも、タクシの自動車を借切りにして、好きな方面へ物見遊山に出掛ける位の事は、お易い……御用と云ふもんです。あんな三文書屋の食糧なんかは、五浦の海へ打捨つた樵子一枚と諦めて了つて、古い叔父が、樽籠を俵に装束入れるのが、第一お前さんの一生涯の徳用でもなり、又二つには、此の松崎も、お前さんのやうな美しい優しい氣質「ぞよ、存じません。妾には、何ぞお答へして宜いのか、藤枝露が……」

哀れなる相代は、唯留へて、俯向いて、斯う言ふより外に、返事の爲しやうも無かつた。

「露が分らん……と言ふのかね？」
藤枝露ぢやないよ、相代さん、榮徳の火蓋はまだ切らんが、男が一旦、火蓋を切り放したからには、只分らんの一語、引退れる譯のものだやないからね。殊にだね、お前さんには、何にも氣付かずに居るかも知らんが、一度此の家へ足を踏み込んだ女は、虎が窟、啊、込まれた羊同然に人間界ではもう到底明い空の下へ出る事の出来ない仕組になつて居るんだから、強てお前さんが剛情を叩き通さうと思へば、先づ命から先へ

「あれッ、松崎さん……」と、親代は氣味わるさの餘り、我知らず壁際の方へ退屈ひする一方であつたが、仕うした機嫌でか、その眞實性に當る灰色の土壁が、約三尺四方ばかりくると怪しの聲を發すると、すしきゝんと物に倒れこんだ。それより、突然壁上でも飛び込まれるや本町二丁目浦見旅館前電話七四二番

内科
小兒科
婦人科

京城醫院
村上憲佑

「あーッ、お婆さん！ 松崎さんをこし投げ出しとして掛るより仕方がないんダ。」
松崎は、舌起りながらジリ／＼と親代の隣近くへ構り寄つて來るのである。

「自然の食物を人間が造り出したもので食ふのは、果腹にかけたものばかりを食ふのが結果腸胃を害することである。腸胃を損ね熱でも起した時は病の如き柔かいものを食させます。之は靈藥の爲でなく治療法としてであります。纖維は食物の中に多量に入ります。故に牛乳を飲む時も麵粉の如きものを一緒に食ふがよろしい。身體の運動も胃腸の運動と共に血液の循環をよくします。次に大切な事は骨を食するといふ事です。骨にはカルシウムといふ成分を含んでゐるから、この二つが料理から除かれてる繊維質を攝取する事がないと腸胃の働きを弱くします。即ち自然界の一故自然のものを食せねばあやまりである。」

自然の食物(natural food)を人間が造り出したもので食ふのは、果腹にかけたものばかりを食ふのが結果腸胃を害することである。腸胃を損ね熱でも起した時は病の如き柔かいものを食させます。之は靈藥の爲でなく治療法としてであります。纖維は食物の中に多量に入ります。故に牛乳を飲む時も麵粉の如きものを一緒に食ふがよろしい。身體の運動も胃腸の運動と共に血液の循環をよくします。次に大切な事は骨を食するといふ事です。骨にはカルシウムといふ成分を含んでゐるから、この二つが料理から除かれてる繊維質を攝取する事がないと腸胃の働きを弱くします。即ち自然界の一故自然のものを食せねばあやまりである。

る暗室へ押附めて、ゴツ、ゴツ、仕うなさんです。』

相代は、驚くとか呆れるとか云ふ皮を通り越して、怖しさに殆んど氣絶せねばかりであつた。

『仕うも爲ないよ。今も言つた虎が驚くは、そのこつたから、眞暗な中で、半日なりと一日なりと、乃至は一年なりと二年なりと、氣の落着くまで静と静合して見なさい。私にゴツ、ゴツ、主人の用遣を済まして、私にゴツ、ゴツにでもなつたら、出直して来るが、それまではお氣の毒ながら、此方からピンと錠を鎖しとくからね。』

と驚突ふやうに言ひつゝ、松崎は、殘酷にも外からギユツと錠を鎖して了つた。

『ゴツ、ゴツ、松崎さん、貴方は何の想ひがあつて、要をこんな酷い目に……。』

相代は、泣きながら、錠を押附けやうとぞ蹴つくのであつたが、如何なる巧みの仕掛があるのかして、五分の搖ぎも動きも足らない。

●骨の料理を考へよ

皮膚を健全にする一法

皮膚の健不強弱は其の健康に重んずる關係を持つて居るが此點に就て注意を拂ふ人の少いのは甚だ憂念な事である。さう異なるに皮膚を強くするには

人間の骨組が弱くなる又我々人間の體を組織してゐる細胞の核の中にカルシウムが缺乏すると細胞の分裂と繁殖が出来ませんカルシウムが缺乏すると細胞と細胞のなつがかりが弱くなる

皮膚、肌、肺、精核にかかり、男人はこのカルシウムの缺乏から来るのが多。いさうが魚類や其他の動物の

●骨の料理法を研究されん事

を切望します次に要務を正しくして頂きたい立つて柱に背をつけた時頸の處に指二本腰の上の所に掌二枚が入る位肩甲骨、背骨で二枚で平面になるやうな姿勢がよいこの姿勢を取りながら下腹部に力を入れるさうすれば精神が統一され作業能力が旺盛になるのであります。某醫學博士は言つた

【要行】

目録一週間出居る工人一人数約千名、以上は佛蘭西に於ける行の記載である。若し勿論臨時に臨出居る工人、密の秋日、急行人多くする。

船下にて飯欲しき歩く・枯柳短日や星樹が吐き金釘同潜る夜の人に分ち來往哉同樹園さ山の銀を落る枯柳同舍に在る二階はつ楠柳同短日や工場の霞夕楠柳同築瓦子等の不安八手喚く同死に絶え惜むた寺同枯柳乾乾を付みて渡舟や雪風同油屋の懸看板や枯柳同北星

[illegible]

お化粧の順序

ク
ク
ク
ク
白
粉

美人とある近道

第三に……………生地まで白くなる



美人

最新刊

最新刊

常世百道樂內 票一三〇
支那船大 船票石山 船票四四〇
水力タービン 石山 船票三〇〇
電車工務交通通理 船票五〇
初等學級 交通通理 船票五〇
實業學級 交通通理 船票五〇
銀行 論 船票七〇
口語 法文 船票四七五
現代小説 史實 船票二五〇
墨田所其 天產村 船票一五〇
新運命結婚と性 船票一〇〇
死者の生 生活 船票九〇
無敵の生 生活 船票九〇
默仙傳 話 船票九〇
日蓮聖人の孝道 船票九〇
日蓮聖人の孝道 船票九〇
古金名家 寶物 船票六五
木室 傳 寶物 船票六五
新式實用 寶物 船票四〇
新式實用 寶物 船票四〇
小説 寶物 船票四〇
入學高等 寶物 船票四〇
入學高等 寶物 船票四〇

陵屋號

三和 二月十日 正午出帆
砂波 二月十九日 正午出帆
砂波 二月十九日 正午出帆

日本郵船出帆

大連行 二月十日 正午出帆
二月十九日 正午出帆
二月十九日 正午出帆

大邱浦項間自動車時間

大邱	浦項	時間
大邱	浦項	一小時
浦項	大邱	一小時

石炭 煉炭

電燈 村山商行
煉炭 村山商行

金泉糖泉間自動車時間

金泉	糖泉	時間
金泉	糖泉	一小時
糖泉	金泉	一小時

汽船釜山出帆廣告

船名	出帆時間
立小	日發五時出帆
立小	日發五時出帆
立小	日發五時出帆

尼崎汽船出帆

船名	出帆時間
土海丸	二月八日 午後四時出帆
土海丸	二月八日 午後四時出帆
土海丸	二月八日 午後四時出帆

大阪商船出帆

船名	出帆時間
山陽丸	二月八日 午後五時出帆
山陽丸	二月八日 午後五時出帆
山陽丸	二月八日 午後五時出帆

共同汽船出帆

船名	出帆時間
大連丸	二月八日 午後五時出帆
大連丸	二月八日 午後五時出帆
大連丸	二月八日 午後五時出帆

朝鮮郵船出帆

船名	出帆時間
釜山丸	二月八日 午後五時出帆
釜山丸	二月八日 午後五時出帆
釜山丸	二月八日 午後五時出帆

仁川發

船名	出帆時間
釜山丸	二月八日 午後五時出帆
釜山丸	二月八日 午後五時出帆
釜山丸	二月八日 午後五時出帆